



ニュースリリース

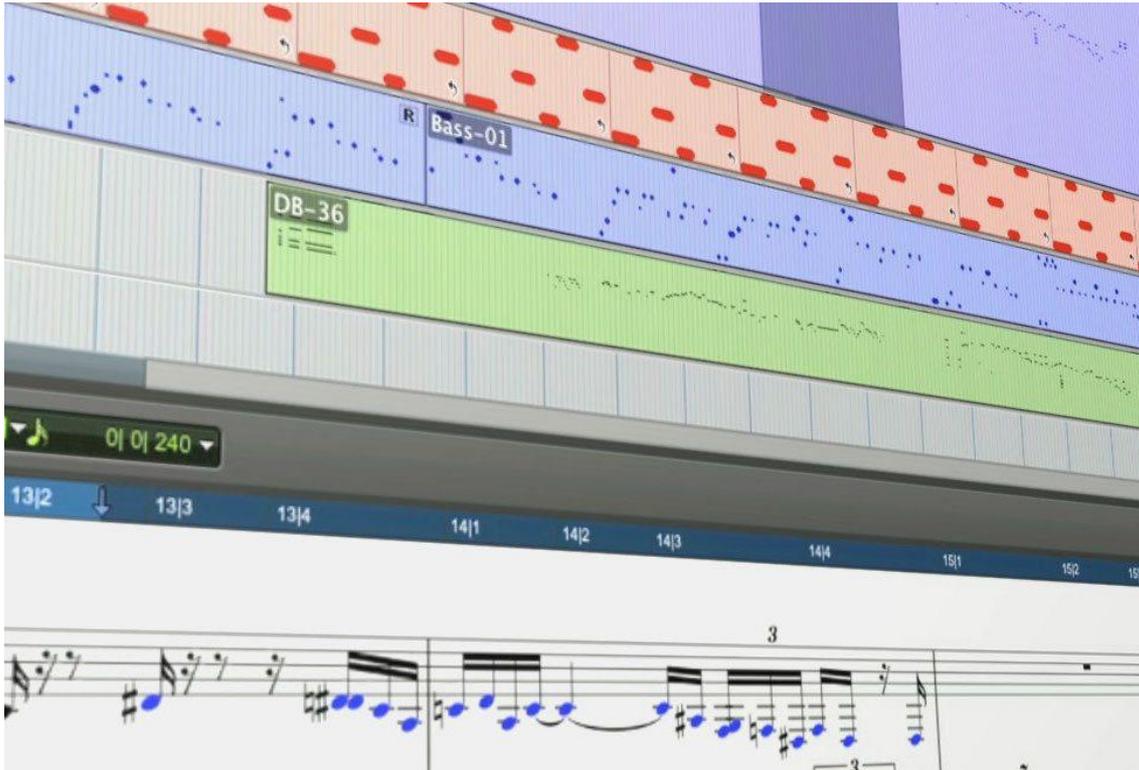
Avid、VR オーディオミックス等の新機能を搭載した 最新版の Pro Tools を発表

～最新版の Pro Tools | HD では、Facebook 360 Spatial Workstation で VR コンテンツのオーディオ編集/ミックスが実現。さらに、Dolby Atmos® ワークフローのさらなる効率化により、イマーシブ・オーディオの進化を加速。～

2017 年 10 月 19 日(木) 東京 - 国際的なメディア組織、企業ユーザー、クリエイティブ・プロフェッショナルに、メディア・アセットの制作、配信、収益化技術を提供する Avid®(Nasdaq:AVID)は、最新版の Pro Tools®を AES New York 2017 で発表しました。最新版の Pro Tools | HD では、Facebook 360 Spatial Workstation で VR プロジェクトのオーディオ編集/ミックスが可能になります。そして、統合された Dolby Atmos®のワークフローのさらなる効率化によって、イマーシブ・オーディオの革新を後押しします。Pro Tools | First, Pro Tools, Pro Tools | HD それぞれに数多くの新機能/改良を追加し、ワークフローの効率化およびクリエイティブの革新をサポートします。

また、Pro Tools | S6 や Pro Tools | Dock と組み合わせ使用可能な Avid Artist Mix や Pro Tools | S3 といった EUCON ベースのコントロール・サーフェスの利便性を向上させた EUCON 3.7 も合わせて登場しています。

Pro Tools® 12.8.2



最新版 Pro Tools 12.8.2 の新機能

MIDI 機能の強化

新しい MIDI 強化機能により、より効率に優れた作曲/アレンジ作業が行えるようになりました。グリッド/ナッジ・サイズ及びペンシルツールをキー操作により素早く変更、MIDI 演奏入力時のノート並びにコード・ネームの確認、ウインドウ・コンフィギュレーション上での MIDI 編集レーンのストア/リコール、スマートツールを使った MIDI クリップ編集等が可能となっています。

[ビデオ: MIDI Enhancements - 12.8.2 \(英語\)](#)

新しくなったバッチ・リネーム機能

バッチ・リネーム機能が強化され、ゲーム・サウンド・デザインや複数言語を扱った MA 作業を行う際の大幅な効率アップが実現されました。新たにトラック・ネームに対するバッチ・リネーム機能が加わり、トラック/クリップ両方に対するリネーム機能が強化され、検索/置換え/接頭辞/接尾辞/多彩なナンバリング機能を駆使して、効率よくトラック/クリップのネーミングを管理、そのままファイルとしてエクスポートすることが可能です。

[ビデオ: Batch Renaming \(Tracks & Clips\) \(英語\)](#)

VR オーディオ編集&ミックス(Pro Tools | HD のみ)

Pro Tools | HD 内で、VR コンテンツに対するオーディオ編集/ミックスが完結可能となりました。Pro Tools HD 上トラック及びバスが、サード・オーダーまでの Ambisonics に対応することで、より精緻な VR オーディオの編集/ミックスが簡単に行えるようになり、必要な再生フォーマットへ出力/デリバリーすることが可能となります。また、Facebook 社の協力の下、Pro Tools | HD 12.8.2 には Facebook 360 Spatial Workstation も、その機能の一部として標準インストールされるようになっています。

[ビデオ: Ambisonics & Facebook Spatial Workstation \(英語\)](#)

Dolby Atmos 作業を一層効率化(Pro Tools | HD のみ)



新たに加わったフロント/リア・ポジション・ノブ・リンクにより、両方のパラメーターを、Pro Tools やコントロール・サーフェスから 1 つのパン・コントロールを行なう事で操作可能となりました。さらに、既存のパン・オートメーション・データを「高さ」をオートメーションする目的で再利用したり、Pro Tools セッション内での Dolby Atmos Renderer 接続設定も瞬時に実行可能となっています。Dolby Atmos プロダクションワークフローの詳細は、[こちら](#)をご参照ください。

Pro Tools | First のセッション読み込み機能 (Pro Tools | First)

Pro Tools | First ユーザーも、Pro Tools や Pro Tools | HD で作成したセッション・ファイルを読み込めるようになりました。シンプルにセッション・ファイルを開き、「コンバート・トゥ・プロジェクト」ダイアログを用いて、クラウド・スペースにプロジェクトとして保存することが可能です。



EUCON 対応 Pro Tools | S6 新機能

EQ 及び DYN サイクリング(切換)

Pro Tools | S6 上でのプラグイン切換がより素早く行えるようになりました。EQ, DYN にカテゴリーされているプラグインを、S6 上の EQ または DYN ボタンをダブル・プレスするだけで、そのチェーン内の次のプラグインを呼び出すことが可能となります。

Master Meter Module

S6 上でのビジュアル・フィードバックが一層充実します。この新機能により、任意の S6 ディスプレイ・モジュールを、マスター・メーター・モジュールとして活用することが可能となり、マスター/バス・メーターを常時表示させておくことができるようになります。ディスプレイ上に最大 4 列までのメーター表示が可能となり、プリセットとして保存しレイアウトとともにリコールすることもできます。

その他の追加機能:

- ・ アテンション・トラックのクリア
- ・ トラック番号の前にワークステーション番号を表示させる初期設定の追加

Pro Tools|S6 以外の EUCON コントロール・サーフェスでも v3.7 のメリットをご利用いただけます。



EuControl 新機能

Pro Tools | Control からの VCA スピル

Artist Mix, Pro Tools | S3, Pro Tools | Dock コントロール・サーフェス使用時の利便性が向上しました。Pro Tools | Control アプリが VCA スピルに対応し、コントロール・サーフェスと組み合わせることで、複数の VCAトラックを使用した際のミックス作業時の視認性/利便性が一層向上しました。Pro Tools | Control アプリ上の VCA ボタンをタッピングすることで、サーフェス上にその構成トラックの展開が行なえます(再タップでアンスピルとなります)。

その他の追加機能:

- ・ OLED 上のオートメーション・フィードバックの強化
- ・ Automation Write フィードバック

Avid について

"Avid Everywhere™"ビジョンを通じて、Avid は、栄えある賞に輝く映画作品、テレビ番組、ニュース番組、スポーツイベントのテレビ放送から、音楽録音、ライブ・コンサートツアーにいたるまで、世界中が観て、聴いて、愛するメディアの協調制作、アセット保護、配信のためのデジタル・オーディオとビデオ・テクノロジーを開発し、業界で最もオープンで、革新的かつ包括的なメディアプラットフォームを提供します。Avid の最も有力で先進的なソリューションには、Pro Tools®、Media Composer®、Avid NEXIS™、Interplay®、ProSet™、RealSet™、Maestro™、PlayMaker™、Sibelius®などがあります。

アビッド テクノロジー株式会社は米国 Avid Technology の 100%日本法人です。 www.avid.com/ja

本プレスリリースについては、以下までお問い合わせください。

アビッド テクノロジー株式会社 マーケティング部 フィールドマーケティングマネージャー 大塚健太
kenta.otsuka@avid.com

Avid のソーシャルメディアをご利用ください。



Avid のソリューションおよびサービスについて、詳しくは www.avid.com/ja、[Instagram](#)、[Twitter](#)、[YouTube](#) をご覧ください。また、Avid の [Facebook](#) ページ、音楽や映像制作に役立つ情報をお届けする [Avid ブログ](#) もどうぞご利用ください。

© 2017 Avid Technology, Inc.無断転載・複写を禁じます。Avid、Avid ロゴ、Avid Everywhere、Avid NEXIS、iNEWS、Interplay、AirSpeed、MediaCentral、Media Composer、PhaseFind、Pro Tools、ScriptSync、Sibelius は米国あるいはその他の国における Avid Technology, Inc またはその子会社の商標または登録商標です。「Interplay」の名称は、Interplay Entertainment Corp. の許可を得て使用しており、同社は Avid 製品に対してなんら責任を負うところのものではありません。文中に記載されている商標はすべて、各所有者に帰属します。製品の機能、仕様、システム要件、および販売形態は、予告なく変更されることがあります。記載の価格はすべて国内のみで有効なメーカー希望小売価格です。価格は予告なく変更される場合があります。

###